

平成25年1月23日
九州地方整備局
川辺川ダム砂防事務所
緑川ダム管理所

深層崩壊による河道閉塞を想定したヘリコプター による投下型水位計ブイの投下訓練を行います

平成23年3月に発生した東日本大震災や平成23年9月に発生した紀伊半島での土砂災害を受け、国土交通省九州地方整備局では災害時の対応能力向上に向けた取り組みを進めています。また、平成23年5月の土砂災害防止法の一部改正に伴い、河道閉塞・火山噴火に起因する土石流などで大規模な土砂災害が発生した場合、国土交通省により緊急調査を実施することになっています。

そこで今回、九州地方整備局本局、川辺川ダム砂防事務所、緑川ダム管理所で連携し、大規模な土砂災害に備え、深層崩壊による河道閉塞を想定したヘリコプターによる調査・通信訓練を実施します。

今回の調査では、緑川ダムを深層崩壊による河道閉塞で発生した天然ダムと見立て、防災ヘリコプターよりレーザー計測にて被害状況の把握を行った後、防災ヘリコプターの指示の下、輸送用ヘリコプターから投下型水位計ブイを投下し、被災箇所の規模調査を行うとともに各種カメラにより撮影した映像のリアルタイム伝送訓練を行います。

記

実施日：平成25年1月25日（金）（雨天等の場合は実施を見合わせる場合があります。）

訓練場所：緑川ダム（熊本県下益城郡美里町）（別紙訓練配置図）

実施行程（予定）： 13:00～15:00

※ 職員が防災ヘリコプターを運用し、緑川ダムにて上空からのレーザー計測訓練（緯度・経度・標高の測定）を行います。その後、投下型水位計ブイを搭載した輸送用ヘリコプターへ防災ヘリコプターから指示を行い、ブイの投下訓練を行います。

参加機関：国土交通省 九州地方整備局、川辺川ダム砂防事務所、緑川ダム管理所

【問い合わせ先】

・国土交通省 川辺川ダム砂防事務所 工務第二課長 杉町 英明（ヘリ調査関係）0966-23-3174
緑川ダム管理所 所 長 下田 孝徳（実施場所関係）0964-48-0216

深層崩壊による河道閉塞を想定したヘリコプターを活用した投下型水位計ブイの投下訓練

1. 訓練の目的

豪雨や地震で深層崩壊が発生し、河道閉塞による土砂ダムが形成された場合に、「緊急調査」として速やかに状況把握を行うことが出来る体制を確認するため、九州地方整備局本局及び事務所の連携により、ヘリコプターを活用した河道閉塞箇所調査及び投下型水位計ブイの投下、観測機器を活用した被災規模の調査訓練、Ku-SATとカメラ等を用いた監視体制の構築訓練を行う。

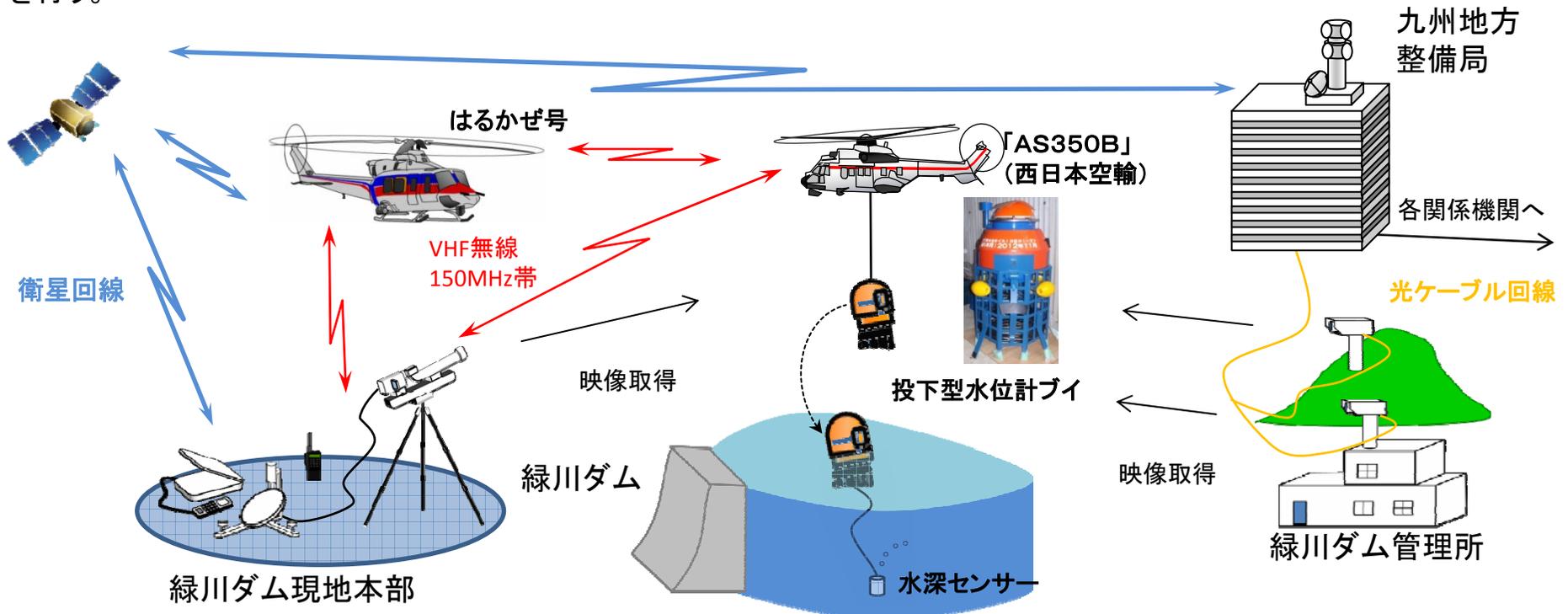
2. 時期・場所 平成25年1月25日(金) 緑川ダム湖周辺エリア 13:00~15:00頃まで

3. 参加機関 九州地方整備局本局、川辺川ダム砂防事務所、緑川ダム管理所

4. 訓練内容

「はるかぜ」に職員が搭乗し、上空からレーザー計測器等を活用し、河道閉塞部の状況の把握を行ったのち、「はるかぜ」からの指示の下、西日本空輸のヘリコプターより「投下型水位計ブイ」を投下し、被災箇所の規模調査及び監視の訓練を行う。

現地本部にKu-SATとカメラの設置、緑川ダム管理所CCTVによる監視体制を構築、映像取得し本局へ伝送する訓練を行う。



訓練配置図【緑川ダム周辺位置図】

現地訓練配置図



現地までのアクセス



緑川ダム周辺航空写真

